

# 校舎整備事業 プロジェクト通信

## ロードマップ ステップ1 人工地盤補強工事

発行日 2022年12月20日

プロジェクトマネージャー

1級建築士 谷合正行

- 2019年9月からスタートした全校建物予備調査結果を踏まえて、2020年1月には「横浜雙葉学園 建物調査による短期・中期・長期修繕計画の提案書」をまとめた。  
提案書では、修繕計画を以下の3通りに分類した。
  - ①安全衛生面:構造耐力向上、室内環境改善
  - ②建物耐久性維持増進面:建物外皮のメンテナンス
  - ③機械設備:機械性能の計画的な維持管理
- 上記分類の①を最優先と位置付け、校舎整備事業ロードマップのステップ1として体育館西側の「人工地盤補強工事」に着手している。



人工地盤補強工事部分

中高体育館

(横浜雙葉学園 航空写真)

### 人工地盤補強工事 経過報告

2021年9月	■人工地盤(中高体育館西側)について、現状調査開始 ・2021年12月から翌年1月にかけて、工事施工者併設設計事務所による人工地盤「躯体調査」及び「地盤調査」を実施
2022年3月	■人工地盤補強方針確定 ・上記調査結果を踏まえた補強方法を検討 ・「アースアンカー工法による擁壁補強」、合わせて「コンクリート躯体の再アルカリ化」を当該工事の方針として決定
2022年10月	■10月3日、上記を方針として、校舎整備事業ロードマップのステップ1「人工地盤補強工事」が、スタート
2022年12月	■「コンクリート躯体再アルカリ化」工事着手、2023年2月下旬同工事完了予定



人工地盤補強のための大規模な工事用足場を組み上げている工程



コンクリート面に補強材を注入している工程



外部メッシュ筋

外部メッシュ筋を陽極、コンクリート内部の鉄筋を陰極とする直流電気を流して、コンクリートにアルカリ性を再付与する工程